



ながかど

市民憲章

- ★ 青い海 みどりと太陽につつまれた
美しいまちをつくりましょう
- ★ 子どもの夢をそだて みんなのための
しあわせなまちをつくりましょう
- ★ スポーツに親しみ 文化をたかめ
健康なまちをつくりましょう
- ★ たがいに親切で きまりを守る
明るいまちをつくりましょう
- ★ たのしく働き ぐらしの豊かな
伸びゆくまちをつくりましょう

編集・発行 長門市役所企画課 電話 長門 (08372) ②-2111 (代表)



昭和61年 第594号

10 / 1

毎月1・15日発行

歳時記

| | |
|-----|------|
| 8日 | 寒 露 |
| 10日 | 体育の日 |
| 16日 | 十三夜 |
| 24日 | 霜 降 |

新しい“郷土芸能”を 若い力で育てよう

夕方7時過ぎ、飯山八幡宮の森から太鼓の音が聞こえてきます。これは、長門太鼓愛好会が八幡宮の社務所を借りて太鼓の練習をしているのです。今練習しているのは11月に開催される、ふるさとまつりの芸能大会に出演するためです。

太鼓打ちは全身運動で、練習を開始して5分もたつと全員汗びっしょりになっていました。現在の会員数は13人、内女性が2人で、女性を除く会員の平均年齢は40歳代の後半になります。

この会は8年前、市内に新しい郷土芸能をつくろう、と結成されたものです。53年4月に「長門大漁太鼓」を披露してから今日まで、各種の行事に出演して市民に親しまれています。順調に育ったこの会も、今、後継者不足に悩んでいます。会長の松田さんは「若い会員を求む。男女を問いません」「やっと根付いた長門の郷土芸能“太鼓”を、いっしょに育てて行きませんか」と話していました。

長門太鼓愛好会 TEL②-0215 (松田宅)